

## 山 东 大 学

## 二〇一四年招收攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码 623 科目名称 实践日语

(1-30 题答案填涂在答题卡上, 其余试题答在答卷纸上, 写在试题上无效)

一、次の文を読んであとの問いに答えなさい。答えは、a~dの中から最も適当なものをそれぞれ一つずつ選びなさい。(2点×7=14点)

旅に出るときカメラは一応持っていくけれど、実際に写真を撮ることは少ない。大袈裟な主義主張があるわけではないけれど、わたしにとっては邪魔になることのほうがはるかに多い。その理由は——カメラを持っていると、どうしても写真がとりたくなる。いや、とりたくなるというより取らなければいけないような義務感が心のなかに生ずる。\_\_\_\_\_「ア」\_\_\_\_\_と、思って感銘した次の瞬間、\_\_\_\_\_「イ」\_\_\_\_\_そんな意識が脳裏に蠢いて、これがわずらわしい。

そればかりではない。いったんシャッターをおしてしまおうと、\_\_\_\_\_「ウ」\_\_\_\_\_といった気分が心を占め、目の前の佳景をしっかりと観賞し、記憶に留めおくという作用がどうしても甘くなる。中途半端にながめて、あとは後日写真ができあがったときに委ねてしまおうという心理が働く。これがどうも風物を観賞するうえで間違っただ道のような気がしてならない。

私自身が入江泰吉さんとか浅井慎平さんとか、一流カメラマン並みの撮影技術を持っているのならよいけれど、実力は安いカメラでスナップを写す程度のもの。後でできあがった写真は絵葉書にも①遠く及ばない。結局のところ、景色をろくに見なかったこととさして変わりがない。そんなことなら初めからカメラなど当てにしない方がいい。数年前にそう悟って、以来めったに写真をとらなくなった。

カメラはないとなると、観賞法そのものもおのずと厳しくなる。②余計なことを考えずにすむから、心ゆくまで賞味することができる。しかも、これから先にのべることは自分でもはっきりと断定できない微妙な心の作用なのだが、カメラがなければめのあたりに見たことをハーフ・メードの形で文章化しておくという仕事も、無意識のうちでやってしまうようだ。——この風景を小説の中で描写するとしたらどう書くだらうか——頭の片すみでそう考え、完全に文章化することまではしないが、なにかしら頭の中に文章に近い形に変えて貯蔵するようになる。

ハーフ・メードというのは、その言葉の語義からいって50パーセントほど製品化することだろうから、わたしの場合はとてもそこまではやらないけれど、10パ

考试结束后请与答卷一起交回

ーセントか20パーセントくらい(③)を自分の表現に変えて脳裏に記録するところがあるようだ。これがあとで小説やエッセイを書くときに役に立つ。④こんな作用は一般の人びとにはあまり必要なことではあるまいが、旅先で写真を撮ることにばかり夢中になっている人を見ると——あんなことで風物をよく観賞することができるのだろうか——と、不思議に思わないでもない。

問1、「ア」「イ」「ウ」に入る組み合わせとして、最も適当なものを選びなさい。

- Aア) いい景色だなあ  
イ) うん、これでいい  
ウ) ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ
- Bア) ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ  
イ) いい景色だなあ  
ウ) うん、これでいい
- Cア) うん、これでいい  
イ) ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ  
ウ) いい景色だなあ
- Dア) いい景色だなあ  
イ) ああ、そうだ。写真に写しておかなくちゃあ  
ウ) うん、これでいい

問2、①「遠く及ばない」とはここではどういうことか。

- A 写真も絵葉書も実際の景色のすばらしさにはとてもかなわないこと  
B 自分で撮った写真より絵葉書のほうがはるかにすぐれていること  
C 自分のカメラでは絵葉書のように遠くの景色がうまく撮れないこと  
D 絵葉書よりも自分で撮った写真のほうがずっと価値があること

問3、筆者は自分の撮影技術をどのように思っているか。正しいものを選びなさい。

- A カメラなどもつ資格はない。  
B それほど上手だとはいえない。  
C 絵葉書の写真程度には写せる。  
D かなり高い撮影技術を持っている。

問4、②「余計なこと」とはどのようなことか。

考试结束后请与答卷一起交回

- A 景色を十分に味わわなければならないということ
- B 景色をしっかり記憶しなければならないということ
- C 景色を写真に撮っておかなければならないということ
- D 景色を文章で表しておかなければならないということ

問 5、(③)に入る適切なことばを選びなさい。

- A 写した写真
- B 頭の片すみの文章
- C 眼で見たもの
- D 微妙な心の作用

問 6、④「こんな作用」とはどのようなことか。

- A 風景をある程度文章にして記憶すること
- B 風景を深く観賞し、記憶に留めること
- C 風景をテーマに小説やエッセイを書くこと
- D 風景の写真を撮ることに疑問を感じる

問 7、筆者にとってカメラのない旅の利点は何か。

- A 写真の代わりに文章の形で残るので小説などの作品がふやせること
- B 無意識のうちにハーフ・メードの文章を書く技術が進歩すること
- C 一流カメラマン並みに写真を撮れたかどうか心配しなくてもいいこと
- D 風物を十分観賞できるうえに、ある程度文章化して記憶できること

二、次の文を読んであとの問いに答えなさい。答えは、a~dの中から最も適切なものをそれぞれ一つずつ選びなさい。(2点×3=6点)

人はさまざまなことで心に傷を受ける。年齢により、地位により、男女の違いによる傷に対する反応も(①)。同じことでも、ある人は傷つき、ある人は傷つか(②)。小さな傷でも深く傷つく人もいれば、傷ついてもすぐ直る人、いつまでも、くよくよと(③)だわっている人、など様々である。

肉体におった傷は正しい治療をすれば(④)直る。少なくとも痛みは直る。痛みがなくても傷跡が残る場合もある。むしろ、傷跡が残らないかによって、私たちはその傷の大きさや深さを知る。

しかし、むち打ち症のように、その場合で気がつかなくても何年か経って急に襲ってくる場合もある。その時正しい治療をしていれば何でもなかったものが(⑤)手を抜いり、うっかり軽く見たために後遺症にひどい目に遭う。

肉体の傷は外部から人の目にも自分の目にも見えるが心の傷は自分以外は誰から見えないという点である。目に見える傷は傷4状態から、自分で薬を塗るだけでも直かただちに病院へ飛んで行かなければならないか判断することができる。無論、むち打ち症のような場合もあるし、判断を誤る場合もある。

問 8、(①)に入れる言葉を選びなさい。

- A、あるそうだ B、違ってくる C、なかった D、同じ

問 9、(②)に入れる言葉を選びなさい。

- A、れる B、ない C、せる D、なかっ

問 10、③こだわっているに意味に相当するものは次のどれか。

- A、気にかけている。
- B、がっかりしている。
- C、気持ちが落ち着かないようにしている。
- D、意志消沈している。

三、次の文を読んであとの問いに答えなさい。答えは、A~Dの中から最も適切なものを一つずつ選びなさい。(2×10=20点)

日本のカレンダーの一週間は、たいてい日曜日で始まり土曜日で終わる。だから土曜日に「来週会おうか」というと、(①)。ところが、ヨーロッパのカレンダーは、月曜日で始まり日曜日で終わるのが圧倒的。月曜日を(②)第〇週と数える。スイスの知人と日曜日に話していて、最後にうっかり「今週もう一度会いませんか？」と言ったら、③怪訝な顔をされてしまった。

七日を一週で数える方法は、紀元前のローマ暦で確立されたもので、七日ごとに仕事を中断して神に祈るのが安息日、というモーゼの律法にもとづく。日本で最古の記録は藤原道長の日記だそうだが、週日制が日本に普及するのは、文明開化の一環として明治政府がこれを採用した一八七六年からである。

あるドイツ人に日本のカレンダーをプレゼントしたら、④「日本には週末がないんだね」と言われて、⑤なるほどと思った。このごろでは週休二日制が日本にも普及しつつあるが、西欧のそれは徹底している。(⑥)学校がそうである。商店も土曜日の午前中まではやっているが午後には繁華街の店でも閉店してしまう。

たいていの人、だから金曜日の別れぎわに「よい週末を！」と声をかけあう。「週末」という言葉が(⑦)した心はずむ言葉として生きている社会が、そこにはある。週末には、⑧それっ！とばかりにピクニックに出かけたり、スポーツ、

ホビーに興じる。だからカレンダーでも、週の末尾に土、日曜がならんでいることに、実感がある。

日本にも週休二日制が広がってきたが、どうもまだ「週末」感がない。あるのは働きすぎ、勉強しすぎた「終末」感だけ、とは言い過ぎだろうか。だからカレンダーに週末が見えない。日曜日にまず休み、英気を養っておいて、あとは( ⑨ )働き続ける。日本人は働くために休むが、西欧では休日に向かって働くのではないか——カレンダーを見比べて、ふとそう思った。どちらが人間的なのだろうか、とも。

問題：

問題 11、( ① ) に入りにくい言葉はどれですか。

- A 翌日の日曜日から七日後の土曜日までのことになる。
- B その日から 8 日間のことになる。
- C 翌日の日曜日から七日以内のことである。
- D 翌日から七日間のことになる。

問題 12、( ② ) にはどんな言葉が入ると思いますか。

- A 原点に B 交点に C 起点に D 支店に

問題 13、③ はどんな顔ですか。

- A 「どうもおかしいなあ」といったような顔
- B 悲しそうな顔
- C 失礼なことを言う、といったような顔
- D 会いたくないといったような顔

問題 14、④ ではなぜこんなことを言ったのですか。

- A 日本では週休二日制が普及していないから。
- B 日本のカレンダーとドイツのカレンダーとでは書き方が違うから。
- C 日本ではまだあまり週日制が普及していないから。
- D 日本人は週末にも働くから。

問題 15、⑤ どんない意味ですか。

- A それは残念だと思った。
- B おかしなことを言うと思った。
- C なぜそんなことを言うのだろうと思った。
- D 確かにそのとおりだと思った。

問題 16、( ⑥ ) に入りにくい言葉はどれですか。

- A もともと B とりわけ C なにより D なかでも

問題 17、( ⑦ ) にはどんな言葉が入ると思いますか。

- A ときどき B ひやひや C うきうき D はらはら

問題 18、⑧ はどんな気持ちを表していますか。

- A 週末が待ちきれなく、楽しみにしていた期待感。
- B みんながそうするので、自分も仕方がなくいやいやする気持ち。
- C またいやな週末がやって来たことをうらやむ気持ち。
- D 一週間がたつのは早いものだ。また週末になったという実感。

問題 19、( ⑨ ) にはどんな言葉が入ると思いますか。

- A がんがん B そろそろ C ゆらゆら D だんだん

問題 20、本文の内容と合っているものはどれですか。

- A 日本とヨーロッパとでは一週間の長さが異なる。
- B 日本人は仕事をした後もあまり休まない。
- C 日本人にはあまり週末という実感がない。
- D 一般に日本人はよく働き、ヨーロッパ人はあまり働かない。

#### 四、空欄埋め (1 点×10=10 点)

この悠々たる人生の行路で青春( 1 )はいったいなんであろうか。これもまたぼくらにとって常に古くかつ新しい疑問なのではなからうか。

「若い時は二度とない。」これはよく人々が青年に( 2 )言う言葉である。二十歳を越した青年でこれを親なり目上の人からなり聞かされたことのない人はいないであろう。

しかし、この言葉の意味を本当に考えてみた人は、おそらく( 3 )多くはないのではなからうか。「若い時は二度とない。」だから( 4 )よとか、好きなことをして遊べとか、この言葉の解釈は様々につくであろう。( 5 )この平凡なことわざがあまねく人口に膾炙しているのは決して単にそれがめいめいに勝手な解釈を許すからではなく、( 6 )それがどのような解釈をしても貧乏揺るぎもせぬある厳しい事実の端的な表現だからではなからうか。( 7 )どんなに精出して励もうと、または故意にのらくらして過ごそうと、ぼくらの若い時代というものはただ一度( 8 )ない。二度とそれを取り返すことは誰にも絶対に不可能だ。この誰も疑い得ぬ、だが誰も忘れがちな人生の真実をこの言葉はぼくらの胸に訴えるのではなからうか。

また更に考えて( 9 )、二度とないのは決してぼくらの青春だけではない。ぼくらの一生もまた疑いもなく二度と生きられぬものである。子供の時代も老年の時代も一度過ぎ去れば、ぼくら( 10 )再び生きられない。これもぼくらが普段は忘れがちな大きな事実である。

21. A と B で C へ D の

22. A したがって B つれて C ついて D むかって
23. A それだけ B それほど C そればかり D それより
24. A 勉強でき B 勉強され C 勉強せ D 勉強させ
25. A だが B では C だから D ところで
26. A それで B かえって C わざと D むしろ
27. A それとも B すなわち C ともあれ D それでも
28. A だけ B ばかり C しか D くらい
29. A みれば B みても C みては D みるなら
30. A とは B へは C では D には

五、日本語の中には、擬声語、擬態語などたくさんある。その理由は？自分の考えを述べてください。(30点)

六、次の文章を現代日本語に訳しなさい。(20点)

あづま路の道のはてよりも、なほ奥つかたに生ひ出でたる人、いかばかりかはあやしかりけむを、いかに思ひ始めけることにか、世の中に物語といふもののあるを、いかで見ばやと思ひつつ、つれづれなるひるま、よひるなどに、姉・継母などやうの人々の、その物語、かの物語、光源氏のあるやうなど、ところどころ語るを聞くに、いとどゆかしさまされど、わが思ふままに、そらにいかでかおぼえ語らむ。

七、次の文章を中国語に訳しなさい。(20点)

年老いてくると、人々は昔のことを懐かしみ、昔の記憶を大事にするようになる。古い建て物はなるべく壊さないようにするし、それを建て直すときも、できるだけ原状をとどめようとする。それはひたすら昔の光景が懐かしいからであり、当事者にとってその価値は、金には換えられない。それは、単なる懐古趣味ではないだろう。一国の歴史・伝統というのは、そういう金には換えられないものをいくつか持つということだろう。

八、作文(30点)

「知日派」になるには、どうすればいいのか、貴方の意見を述べてください。

1. 字数: 400字以上
2. 文体: だ体/である体